



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

おおぞら

第218号

2024年4月1日発行

発行責任者 山本 貴道

編集者 木部 哲也

<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/oozora/>

児童発達支援ひかりの子の

取り組み

所長 木部 哲也

児童発達支援ひかりの子は、利用定員は15名で、概ね1歳過ぎから小学校就学前までの主に重症心身障害児を対象としています。職員は児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、看護師、作業療法士、理学療法士の多職種で構成され、それぞれの専門性を活かしながらチームで支援しています。以前、おおぞら通信で幼児期の発達過程の特徴と仕組みについての一つの考え方を紹介しました(おおぞら通信2022年5月号)。今回はひかりの子での取り組みについて、現場の声を代弁して3つの視点で述べたいと思います。一つ目は発達段階の評価、二つ目は社会参加、三つ目は家族支援です。

ひかりの子で過ごす幼児期は子どもの発達において最も変化の大きな時期です。児童発達支援のガイドラインでは「健康、生活」「運動、感覚」「認知、行動」「言語、コミュニケーション」「人間

関係、社会性」等の視点を含めた総合的な支援や、子どもの状態に合わせた専門的な支援を継続的に提供することが定められています。ひかりの子でも個々の発達段階を的確に評価した上で、一步先の発達段階を促す支援目標を立て、達成しうる課題やさまざまな経験を積むことができる療育を実践しています。そのために、子どもの発達段階や特性を丁寧に評価していくことが重要です。

重症心身障害児が「ひとや「もの」を認識するには視覚的、聴覚的に個々の特性があることも多く、職員と同じ感覚でそれを認識しているとは限りません。子どもがどのように視たり、聴いたりしているのかを多面的に評価しなければいけません。その上で成長発達の良い具合に合わせて支援目標も更新していく必要があります。ひかりの子では、重症心身障害児に特化した独自の「適応行動評価」を

作成し、多面的に発達段階や特性を評価しています。また、繰り返し評価を行うことで支援目標の更新を行っています。適切な支援目標の設定は決して容易なことではありません。この「適応行動評価」の更なる改良も今後の課題と考えています。

通園する多くの子どもにとっては、ひかりの子は家族から離れて過ごす社会参加への第一歩の場所となります。職員は家族に代わり、安心して心を通わせる存在となるのが前提となります。家族との間にある互いの豊かな受容と表出を模しながら子どもとの心の交流を図らなければなりません。職員は子どもへの傍に寄り添い、わずかな表情や体の動きの変化、眼差しの行方を正しく読み取る努力が必要といえます。そして、そのような関係を築きあげると共に他児との交流の経験を積める環境設定もしていきます。周りで過ごす子ども達の姿や声、時には体に触れあいその様子を感じること(大人「職員」との関わりとは異なる経験をします。ひかりの子では、子ども同士が互いの存在に気づき、

意識しあえるように顔や視線の位置、距離感を考え、体が触れあえる経験や他児が遊んでいる姿を見たり聞いたりできるようにしていきます。近い距離で過ごして互いを好意的に意識できるように、職員が子ども同士の様子ややりとりを見守れるようにしていきます。

最後に、家族支援について述べます。ひかりの子では、ご家族への支援も児童発達支援の役割と考えています。コロナ禍で行事や家族間交流も例年通り実施できない期間が続いています。写真付お便りでの情報発信、送迎時や個別面談でご家族の意向を聞きとるなど、ご家族と共に子どもの支援ができるよう努めています。また、小さなグループでの保育参加や懇談会を実施する中で、改めてご家族同士の繋がりの必要性を感じています。今後もご家族が安心してお子さんを預けることができるよう、ひかりの子としての役割を果たしていきます。



今年度の

うらら

西田 稚菜

今年度も利用者個々の興味関心に合わせた個別活動を行いました。

Aさんにはひとくくりの動きや変化の面白さが感じられるように、ビー玉が穴に落ちてなくなる動きの活動を提供しました。容器の中に流し入れた数個のビー玉のそれぞれ違った動きを、面白そうに少しほほ笑みながら見ていました。ビー玉が中央の穴に落ちていき、数が減ってくる真剣な表情が見られました。全て落ちて見えなくなるとしばらく中央の穴を見つめ、ひとくくりの動きを感じているようでした。



Bさんには歌に合わせてタッチングや、相手の動きを見て次の動きが予測できるような活動を提供しました。『手をたたきましよう』を歌いながら「たんたんたん」で職員の手を叩くと、じつと職員に視線を向けていました。「わらわらわら」でランダムに本人や職員のお腹にタッチングをすると、吹き出すようにして笑っていました。「あっはっは、あっはっは」の部分で、職員が自由に身体を動かすと笑顔が見られました。同じ動きから違う動きや、大きな動きに変わること、面白さを感じて、楽しんでいました。



今年度から外出が再開され、日常活動だけでなく、非日常を感じられるような外出企画を実施しました。

9月は科学館へ行きました。たくさん鉄球が揺らめいているもの、光が移動して見えるもの、鏡の中に写り込むものなど、普段おおぞらでは見られないものをよく見ていました。そして、本人が操作して動きの変化を感じられるものがあると、自ら手を伸ばし、色々な感覚を楽しんでいるようでした。

科学館にて



11月は都田総合公園へ散策に出かけました。でこぼこ道を通るとハツとした表情に、枯れ葉や枝を踏みながら進んでいると、振動や枯れ枝が折れる音などを感じて、柔らかい表情が見られました。職員が坂道を押して上がっている時には、職員が踏ん張る度に車椅子が左右に揺れ、それを感じながらニコニコと楽しそうにしていました。

都田公園にて



外出企画では、おおぞらでは感じられない音や振動、空気、感触など色々なものに触れ、普段とは違う刺激を感じられたと思います。そして、利用者ひとりひとりの新しい表情を見ることができ、職員も一緒に楽しむことができました。これから利用者にとって良い刺激となり、心地よく過ごせる時間を提供していきたいと思えました。



あさひ成人祝会

小野 京子

今年度あさひではAグループ2名、Cグループ1名、Dグループ3名、計6名の利用者が20歳を迎えられました。

記念すべき特別な日、という思いを込めて、職員による「アニバーサリー」のオカリナ演奏で式がスタート。その後は職員からのお祝いの言葉、お花とアルバムプレゼン、グループ職員による演奏・合唱を行いました。お花は利用者のイメージを伝えてアレンジして頂き、アルバムはアルバムの色、貼る写真・装飾などを職員が選んで作成しました。演奏曲は20年前に流行した曲や利用者が喜びそうな曲をグループ職員が選び当日に向けて練習したり、と準備段階から職員もワクワクしていました。

いつも午後になると眠くなってしまふ利用者も祝会当日は眠ることなく、

お祝いの言葉を述べている職員の顔をジッと見つめたり、職員の演奏に耳を傾けたり、いつもとはちよつと違う雰囲気を感じているようでした。緊張していたのか、祝会が終わった後、職員に囲まれ「おめでとう！」と声を掛けられるとはじめて笑顔を見せてくれた利用者もいました。

6名の利用者は特別支援学校の中等部を卒業している方、今年度からあさひを利用し始めた方、とあさひで過ごした時間は異なりますが、ひかりの子や学童期に放課後等デイサービスに通われていたり、ショートステイを利用されていたり、と多くは以前からおおぞらを利用されていた方でした。そのため、利用者のごとを小さい頃から知っている職員も多数あさひに在籍しています。私自身もそのひとりで、あんなに小さかったのに、小さい頃はよく泣いていたのに、など、まるで我が子の成長をみるか

のようで、そんな利用者の方が成人を迎えた姿は感慨深いものがありました。と同時に、このような特別な日を一緒にお祝いできたことをうれしく思っております。

これからも利用者ひとりひとりがホッと安心でき、そして楽しい時間をあさひで過ごせるよう、お手伝いさせて頂きます。

最後にあらためて、20歳をむかえた利用者のみなさん、そして御家族のみなさん、成人おめでとうございます！



クリスマス礼拝

12月20日(水)に、クリスマス礼拝が行なわれました。池谷チャプレンによる新約聖書の朗読が行なわれ、クリスマスをお祝いしました。

今年は、家族の会から寄贈していただいたグラビノーバを使用して賛美歌の奏楽をしました。



警察との合同防犯訓練

2月6日(火)細江警察署のご協力を頂き、職員50名が参加して防犯訓練(不審者対策)を実施しました。110番通報から不審者侵入をさすまた等で抑制する訓練を行なった後、警察からの護身術訓練も受けました。

新型コロナウイルス対策で3年間実施を見合わせていましたが、2016年から計5回目の訓練で、今後も継続して参ります。



苦情解決委員会

2023年10月~12月
期間中公表を希望される苦情は
ありませんでした。
(期間中受付した苦情0件でした)

	11月	12月	1月
ショートステイ 利用者数 (延べ利用日数)	55人(289日)	56人(274日)	46人(240日)
放課後デイ 利用者数 (延べ利用日数)	20人(76日)	19人(80日)	17人(80日)
実習者数 (グループ数)	2人(1グループ)	2人(1グループ)	0人(0グループ)

